（第三種郵便物認可）

釧路商工会議所報

第1404号
釧路商工会議所
釧路市大町１丁目１番１
電話代表41－4141
編集兼発行人
川村　修一
印刷　釧路新聞社

業界の維持存続に向け
建設部会　釧路市へ要望

当所建設部会（坂野賀孝部会長）は、釧路市に対して公共事業の確保と発注に関する要望を9月18日（金）午後4時より市庁舎にて行った。本要望は市民生活や社会インフラの維持など、地域に必要な役割を担う建設業の安定した経営維持を目的に例年実施している。

当日は、鶴間秀典釧路市長と釧路市議会の畑中一優周議長、市役所幹部職員、当部会正副部会長ら約30人が参加した。

はじめに、坂野部会長から鶴間市長、畑中議長へ要望書を手交したのち、地元建設業界の振興に対する感謝を述べ、当業界が直面する課題の認識と、維持存続に向けた力強い支援・協力を要請。その後、工事量の最大限確保、公共事業の適期発注と適正価格についてなど6つの要望項目を読み上げた。

続いて、濱谷美津男副部会長から資材高騰に関する支援を含めた新規や変更項目の補足説明に加え、要点を一枚にまとめた『インパクトペーパー』を基に建設業界の抱える課題や地域における役割を説明した。

副部会長は「建設業界の存続は地域の安全に直結する」と伝えたうえで、高騰が続く資機材費・労務費の詳細なデータを用いて厳しい現状を示し、業界の維持存続に向けた公共事業予算の確保や地元企業への継続的・優先的な発注が不可欠であると訴えた。

これに対し鶴間市長は、建設業界の貢献に感謝を述べたのち「国の制度などを活用しながら課題解決に努め、各連携機関とも意見交換を行い支援を継続・推進していく」と回答。

続いて、畑中議長は「現場からの声も直接耳にしている。今後も議会としてチェック機能を果たしていきたい」と述べた。

その後、出席した部会役員と鶴間市長、畑中議長による意見交換を行った。

要望書を手にする鶴間市長、坂野部会長、畑中議長（左から）

釧路の涼しさを発信
WEB動画「Cool Stay 釧路」
広告賞＆映像賞で高評価

観光映像大賞の授賞式でスピーチする杉村委員長（運営事務局提供）

当所創立100周年記念事業の一つとして、昨年度公開したWEB動画『Cool Stay 釧路』が〝第79回広告電通賞〟において北海道地区広告賞を受賞、さらに〝第15回観光映像大賞〟でファイナリストに選出された。

本動画は、当所が進める『涼しい釧路、事業化プロジェクト』の一環として令和7年に公開。夏の釧路ならではの涼しさを、80年代シティポップ調の楽曲とカラオケ映像風の演出でユーモラスに表現し、暑さを断つ〝断暑地〟として釧路で涼しく過ごす〝新習慣〟を提案している。

今回受賞した広告電通賞は日本最古の総合広告賞で、業界を代表する賞の一つ。9月15日（火）に行われた贈賞式では、当所地域開発委員の杉村荘平委員長が『釧路の涼しさが、日本を変える』をコンセプトに動画を制作したと紹介。「東京では夏場に難しいジョギングや散歩も釧路なら楽しめる」と魅力をPRした。

また、観光映像大賞は全国規模の映像アワードで、観光振興の観点から優れたプロモーション映像をたたえる賞。今回大賞は逃したが、全国654作品からファイナリスト5作品に選ばれ高い評価を受けた。同月29日（火）に行われた授賞式では、杉村委員長が動画への想いを語り「日本一を誇る夏の涼しさを味わい、身も心もクールダウンしてほしい」と呼び掛けた。

当所では現在『Cool Stay 釧路』の第2弾動画を制作中。公開時期などの詳細は決まり次第、当所ホームページなどでお知らせする予定となっている。

永年勤続表彰式を挙行
27人が栄を授かる

栗林会頭（左）より表彰状を受け取る被表彰者

当所では、会員事業所で永年勤めている従業員の功績をたたえ『永年勤続従業員表彰式』を毎年挙行しており、本年度は9月29日（火）の午後2時より道東経済センタービルにて開催。被表彰者や事業主、来賓ら21人が出席した。

本表彰は、永年にわたり商工業の振興に寄与し功績のあった者、または忠実に業務に従い他の模範となる者で、女性は勤続5年以上、男性は10年以上（以降5年ごと）に表彰する。

また、勤続30年以上の被表彰者には、日本商工会議所の小林健会頭と当所の栗林定正会頭の連名による表彰状が贈られる。

当日は、表彰者27人（勤続5年・8人、10年・8人、15年・2人、20年・2人、25年・2人、30年・1人、35年・3人、40年・1人）のうち10人が参加した。

冒頭の式辞で栗林会頭は「永年、現場で培われた豊富な知識や技能、仕事に対する強い責任感が企業の基盤を支え、未来を切り拓く最大の推進力となる」と被表彰者へ敬意を示し「これまでの経験を次の世代へ引き継ぎ、後進の育成にもお力添えいただきたい」と期待の言葉を贈った。

次いで、来賓の鶴間秀典釧路市長と寺田宏釧路総合振興局長から祝辞が述べられた。

その後、栗林会頭より被表彰者一人ひとりに表彰状が授与されたのち、被表彰者を代表して35年の島田輝己氏（中央防災システム㈱）が謝辞を述べ「いただいた言葉を心の糧にさらに精進し、会社や地域経済の発展のため努力していく」と決意を新たにした。

終了後には、出席者全員での記念撮影を行った。

酪農の現状学ぶ
釧路食料基地構想協議会　標茶町を視察

釧路食料基地構想協議会（栗林定正会長）は、6日（火）に酪農の現状について理解を深めることを目的に、標茶町で視察研修会を実施し、会員など23人が参加した。

当協議会では、ひがし北海道にある酪農品や農水産物などの豊富な資源を生かし、釧路地域を食料供給基地として確立することを目指し活動している。

はじめに一行は、雪印メグミルク㈱磯分内工場を訪れた。同工場の歴史や特徴、取り組みについて説明を受けたのち、生乳の受け入れ場所やバターの包装工程について担当者の解説のもと工場内を見学。その後、同工場のみで製造されている『切れてるバター』を試食した。

続いて『星空の黒牛』のブランドで知られる農業生産法人㈱エフシーエスを訪問し、直売所と牧場を視察。現地では、肥育から加工・販売について説明を受けるとともに、黒毛和牛とホルスタインを掛け合わせた自社ブランド牛の特徴や強みについて話があった。

最後に訪れた農業生産法人㈱TACSしべちゃでは、設立経緯や施設内の機能・特徴、担い手確保に向けた研修機能の説明を受けたのち、牛舎での給餌の様子や糞尿処理設備（スラリーストア）、最新のメガファーム型搾乳システムを視察し、すべての行程を終了した。

㈱エフシーエスで解説を聞く一行

釧路共助プロジェクト　くしろ共助
KCボード
地域の挑戦に
地域の力で応える
KCボードがつなぐ
共助の新しいかたち
詳しくはHPへ⇒

北海道事業承継・引継ぎ支援センター
釧路サテライトのご紹介

当センターは、経済産業省北海道経済産業局から委託を受けて開設された公的機関です。札幌本部を起点に当所を含む全道８カ所にサテライトが設置されています。
全道各地の商工会議所や各支援機関・行政機関・金融機関などが連携し、事業承継・引継ぎを**無料**、**秘密厳守**、**公平中立な立場**のもと、ワンストップで支援します。

■事業承継には、
ご親族へ引き継ぐ「親族内承継」
従業員へ引き継ぐ「従業員承継（MBO）」
第三者へ引き継ぐ「第三者承継（M&A）」
など、様々な方法があります。

このようなお悩みをお持ちの方はぜひ一度ご相談ください

後継者がいない…	親族に事業を継がせたい	事業承継って何をしたらいい?	個人事業主でも相談できる?
第三者承継を検討したい	借入金があっても大丈夫?	創業希望者とマッチングしたい	
事業承継計画はどう作る?	従業員や役員に事業を継がせたい	どこに相談したらいい?	

詳しくはHPへ

お申込み・お問合せは　0154-41-4143
北海道事業承継・引継ぎ支援センター釧路サテライト（当所経営相談課内）

業務として生成AIを使うための
社内ルールづくりセミナー

本セミナーは、生成AIの「安全な利用基準（線引き）」を定め、安心して活用し業務を広げるための実践講座です。当日は、自社のルール案と社内で諮るための稟議書の下書きをその場で作成します。

●日　時　2026年**11月25日(水)**14:00～16:00
●会　場　道東経済センタービル　5階　大会議室
●対　象　中小・小規模事業者の経営者、役員、管理者、担当者
●定　員　30名(先着順・定員になり次第締切)
●持参物　スマートフォン、タブレット、ノートPCのいずれか1台、筆記用具
●講　師　おおもと経営オフィス代表　大本 佳典 氏
●締　切　**2026年11月18日(水)**

受講無料

こんな方におすすめ！
・社員が個人のスマートフォンで生成AIを使い始めており、どこまで認めるか決めかねている
・すでに社内で生成AIが使われているが、会社としての決まりは特に作っていない
・導入を任されたが、上司や社長にどう諮ればよいかが決まっていない

お申込み・詳細はホームページ（右記QR）からご確認いただけます。

【お問合せ】地域振興部　0154－41－4143

経営分析の取り組み方と
事業（経営）計画書の作成・活用講座

本セミナーでは、さまざまな補助金の申請に必要とされる経営分析の手法や事業計画書の作り方をわかりやすく解説します。補助金を活用した事業展開を考えている方は、ぜひご参加ください。

日時【全2日間】1日目　2026年11月 9日(月)
2日目　2026年11月16日(月)
両日とも14:30～17:00
会場　道東経済センタービル　3階　研修室
対象　小規模事業者
定員　15名(先着順・定員になり次第締切)
内容　経営分析の進め方、持続化補助金のフォーマットの活用、事業計画書をつくる、計画書を活かす派生利用　など
講師　㈱ケーティーズ代表取締役　粕谷 智和 氏(中小企業診断士)

受講無料

個別相談会（講習会参加者対象）
講師または商工会議所経営指導員が個別に面談します。
●日時　2026年11月10日(火)、17日(火)　※事前予約制
●会場　道東経済センタービル　3階　第1小会議室
●定員　10名(先着順・定員になり次第締切)
お申込み・詳細はHP(右記QR)から！

【お問合せ】地域振興部　0154－41－4143

釧路管内の連携深める
管内商工会商工会議所連絡協　地域の情報交換

地域の取り組みについて説明する出席者ら

令和8年度釧路管内商工会議所連絡協議会（会長・栗林定正当所会頭）が2日（金）午後4時より釧路センチュリーキャッスルホテルで開かれ、36人が出席した。

同協議会は、釧路管内9つの商工会と当所で構成され、管内商工業者が抱える課題や実施事業などについて意見や情報を交換し、連携を密にすることを目的に開かれている。

冒頭、栗林会長は「DXの推進や省力化、省人化への投資が進められるなど変革の転換期を迎えている。管内商工会・会議所の連携を一層深め、地域全体の活性化に努めていく」とあいさつ。

その後、来賓の寺田宏釧路総合振興局長より「事業者が安心して事業展開できるよう北海道としても取り組んでいく」、続く鶴間秀典釧路市長からは「釧路の涼しさと道東の自然が海外の方に好評。この強みを生かし地域を盛り上げていきたい」と、それぞれ祝辞が述べられた。

議事では、前年度の事業や決算報告、事業計画などが満場一致で承認された。

終了後には情報交換会が行われ、各地の取り組みや地域の話題などを共有し、それぞれの活動への理解を深めた。

当所からはWEB動画『Cool Stay 釧路』の電通賞受賞や来春公開に向けて、第2弾が制作中であることを報告した。

小規模事業者の皆さまへ
マル経資金のご案内

マル経資金は、小規模事業者の経営改善に必要な資金を日本政策金融公庫が無担保・無保証人で融資する制度で、利用には商工会議所へ経営相談したうえで推薦を受ける必要があります。

融資限度額は2000万円（1日現在利率3・05％）で、返済期間は10年以内（うち据置期間2年以内）です。

詳細は地域振興部0154（41）4143へ。

北海道最低賃金改定のお知らせ

道内の事業場で働く全ての労働者（会社員、パート、アルバイトの方、学生さんなど）及びその使用者に適用される最低賃金が下記のとおり改定されました。詳細は厚生労働省北海道労働局HPにて。　詳細はこちら

令和8年10月1日からの
最低賃金は1,131円となりました